

ぐんま緑の県民基金事業について(総括表)

資料 1

1 趣旨

豊かな水を育み、また災害を防止するなど、私たちの暮らしを支え、多くの恵みをもたらす森林は、県民共有の財産である。

この大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、平成26年度から導入した「ぐんま緑の県民税」を財源とする「ぐんま緑の県民基金」を活用し、次の目標に向けて、様々な対策に取り組む。

2 目指すべき目標

- ◆豊かな水を育み、災害に強い森林づくり
- ◆里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造

3 事業の内容

金額:千円

| 区分 | 事業内容 | H28事業量 (見込) | H28予算 (当初) | H29予算 (当初) | 担当課 | |
|--------------------|--|--|---------------|---------------|-----------|-----------|
| 水源地域等の森林整備 | | | 553,141 | 563,098 | 林政課 | |
| 条件不利地 森林整備 | 地理的、地形的な条件により林業経営が成り立たず放置されている条件不利な森林の間伐等を実施 | 事業区域調査委託:694ha 実施調査委託:505ha 森林整備の実施:444ha | 433,341 | 448,338 | | |
| 水源林機能増進 | 簡易水道等の上流部の森林で水源涵養機能等の低下が懸念される森林を整備し、水源涵養機能を増進 | 事業区域調査委託:373ha 実施調査委託:283ha 森林整備の実施:222ha | 65,000 | 86,100 | | |
| 松くい虫被害地の再生 | 松くい虫被害木が放置され、笹竹が繁茂した森林をコナラやスギなどの森林に再生 | 事業区域調査委託:218ha 実施調査委託:42ha 森林整備の実施:48ha | 54,800 | 28,660 | | |
| ボランティア活動・森林環境教育の推進 | | | 14,016 | 14,255 | | 緑化 推進課 |
| ボランティア活動 の推進 | ボランティア情報の収集と提供、指導や資機材の貸出など一体的なサポートを行う森林ボランティア支援センターを整備 | HP(モリワ)の運用 安全講習会(10回) ボランティア体験会開催(3回、94名) 森林整備作業器具の貸出し(59団体) 情報誌、メルマガによる情報提供 | 7,730 | 8,576 | | |
| 森林環境教育 の推進 | 森林環境教育を推進するため、専門知識を有した指導者を育成 | 指導者養成講座(基礎講座13回26名、経験者講座4回10名) フォローアップ研修(3回) | 6,286 | 5,679 | | |
| 市町村提案型事業 | 地域の実情に合わせ市町村やボランティア団体等が取り組む事業を支援 | ①荒廃した里山・平地林の整備 ②貴重な自然環境の保護・保全 ③森林環境教育・普及啓発 ④森林の公有林化 ⑤独自提案事業 | 280,000 | 280,000 | 林政課 | |
| 制度運営 | | | 3,741 | 3,892 | | |
| 普及啓発 | ぐんま緑の県民税への理解を深めるため、税のしくみ、森林の役割や大切さの普及啓発活動を実施 | 普及資材(チラシ等)作成、各種説明会の開催、各種広報媒体の活用、事業地等をバスで巡る現地説明会(3回) | 1,716 | 1,710 | 林政課 | |
| 評価検証 | 事業の内容検討・実績評価・効果検証などを行う第三者機関を運営 | ぐんま緑の県民税評価検証委員会開催(3回) | 925 | 995 | 林政課 | |
| | 事業の客観的な効果検証を行うために必要な調査・分析 | 間伐前と間伐後の森林の状況を調査し、事業の効果を検証(20カ所) | 1,100 | 1,187 | 林業 試験場 | |
| 計 | | | 850,898 | 861,245 | | |